

週 報

1992年3月22日 復活前第4主日

卷 12 52号

1991年度教会主題

「神の国は私たちの間にある」

聖句 ファリサイ派の人々が、神の国はいつ来るのかと尋ねたので、イエスは答えて言われた。「神の国は、見える形では来ない。『ここにある』『あそこにある』と言えるものでもない。実に、神の国はあなたがたの間にあるのだ。

ルカによる福音書 17章20節～21節

- 目標
1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
 2. 新会堂を献げ、共に宣教に励む。

日本キリスト教団

横浜港南台教会

〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29
電話 045-833-5323、045-833-6616
振替 横浜 9-13994

牧 師 秋 吉 隆 雄

じてきた。

洗礼を受ける資格は、心の中を外から半断することはできないので誰にも判定できない。又、聖書が分かってからと言うのでは死ぬまで洗礼に至らない。信仰には到達点がない。洗礼はあくまで信仰の出発点である。ただ、言うまでもなく、聖書に証されているキリストを信じ、神に生涯を託する信仰は必要である。求道とは、生涯を通して神を求め続けることである。洗礼は人間の信仰の確かさではなく、神の導きの確かさに信頼する決断である。私は洗礼志願者には、①礼拝を厳守すること、②教会の業に可能なかぎり加わること、③月々、額に関わりなく献金をすることを勧めてきた。洗礼を受けた時から生活ががらりと変わることはない。しかし、神と共にあるという喜びは年ごとに増していく。一線を飛び越えて宣教の戦いに加わっていく時、信仰の力が生活の中に生きてくる。この決断を待っておられるのは、誰よりも神ご自身であらう。

一 牧 師 室 か ら 一

私たちの教会の礼拝出席者の内2割くらいの方が洗礼を受けていない求道者である。その方々は洗礼を受ける資格や時期に迷っておられるらしい。私は洗礼を無理に勧めたことはないが、勧めた方がよいかどうか迷うことがある。

洗礼は元来、異教徒がユダヤ教に改宗する時、神を否定していた罪に水中に没して死に、水中から引き揚げられ神を信じる者に生れ変わる式であった。キリスト教はこれを受け入れ、キリストの十字架と共に罪に死に、キリストの復活の命に与かる新生の式とした。洗礼式は神と会衆の前で信仰を告白(誓約)し、キリストの体の一枝、宣教に参与する者になることの宣言である。教会はここに人間の思いを越えた聖霊の関わりを信